

2018年3月13日掲載

「フレキシブル」

最近の私のキーワードは「フレキシブル」だ。日本語では「しなやかな」「融通の利く」「柔軟な」などの意味がある。2月の平昌冬季五輪では、フィギュアスケートやスノーボードをはじめとする選手が、しなやかで柔軟な演技で私たちに魅了してくれた。

3月初めには道内は荒れ模様となり各地で交通機関が混乱した。今シーズンは東京や北陸などでも大雪となり、交通機関の乱れや事故などのニュースを多く見た。

その後、東京の友人と会話していたときのことだ。友人の会社では大雪の前日、午後3時には仕事を切りあげて帰り、翌日は自宅からインターネットを通じてテレビ会議をしたという。

先日は、在宅ワークを選んだ男性を特集したテレビ番組を見た。働く時間を決め、自宅からパソコンを通じて会議に参加するなど、長時間通勤がなくなったことで子どもの塾の送り迎えができるようになり、コミュニケーションも増えたそう。場所や時間にとらわれない柔軟な働き方が選べる時代になっているのだと感じた。

国では「働き方改革」の議論がなされている。つい最近、仕事直前に子どもが熱を出し、途方に暮れてしまった。そのため、育児支援の充実などを心から願っている。「仕事は会社で行うもの」という概念をゼロベースで考え、「融通の利く」「柔軟な」働き方が選択できるようになることで、誰もが働きやすく、生産性の上がる職場につながることを期待したい。

(毎日新聞より)